



広場

市長随筆



進めたい 学校給食の地産地消

4月4日、JAあまくさ、JA本渡五和の共同による農林水産物直売所「天草とれたて市場」がオープンし、連日、大勢のお客さんでにぎわっています。

地元の農家で作られた新鮮な農産物を地元で消費する、このような取り組みを「地産地消」と言います。生産者の顔が見え、何より安心・安全

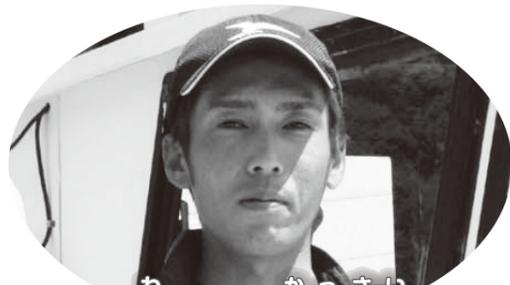
が大きな魅力で、物産館などの直売所とともに、学校給食での取り組みが、地産地消の大きな柱となっています。

大分県の臼杵市では、学校給食に使う野菜畑を「給食畑」と呼んで、地産地消に取り組んでいるそうです。一方、本

市の学校給食では、お米は93%が地元産ですが、野菜などは29%にとどまっております。今年度から、JAや消費者、学校給食関係者などの皆さんによる協議会を設置して、検討を行っていくこととしております。

学校給食では安定的に供給できること、調理のため大きなことが整っていることなど難しい問題もありますが、子どもたちが、地元の農業のことを知り、学んで、おいしく給食を食べている姿を思い描き、学校給食の地産地消を進めていきたいと思っています。

天草市長 安田 公寛



わ かつさい 若っ喝采

鶴岡豊大さん (御所浦町御所浦・29歳)

御所浦地区で家業のぶっきん(トラフグ)などの養殖をしています。趣味は、ゴルフと釣り。ゴルフは、月に最低1回はラウンドしていて、ストレス発散になります。釣りは、今の季節、タイをよく釣っています。大物が釣れたときの感触は格別です。昨年は、9kgのタイが釣れたので、今年はそれ以上の大物を目指します。

宝島の健康



澤田道信さん (楠浦町・98歳)

—— 毎日の楽しみは？
弓道のことを考えることです。今でも週に3回、中央公民館で行われる四



半的の練習に参加していて、自宅から公民館まで(片道約7km)は自転車です。

健康の秘訣は？

毎日1時間のウォーキングを心がけています。1分間に120歩を意識しながらやっています、家族も追いつけないほどです。

年々体力は衰えてきていますが、今の生活リズムを維持しながら100歳を目指してがんばります。



元気に遊ぶ年長組の子どもたち

のびのび元気なしろはとっ子に！

しろはと保育園 (牛深町)

しろはと保育園(部家浩一園長・全園児69人)では、恵まれた自然環境の中で、遊びを基本にのびのびと元気な身体の発達と心豊かな明るい子どもを目指して、さまざまな活動に取り組んでいます。海や川遊び・山遊び・野菜作りなど自然に多く触れ、楽しい経験の中で、豊かな感性や判断力の育ちを身体で感じることで学んでいます。また、縦割り保育(週に1日)の経験をすることで、小さな子どもへの思いやりやかわいさを感じる愛情も育っています(年長組になったら！という期待感にもつながっています)。

4月から新園舎に移り大喜びで、のびのびと元気な「しろはとっ子」です。

自分のふるさとを 愛せる子どもに

柕宇土保育園(柕宇土町)

こんにちは、柕宇土保育園(全園児64人)の園長の脇山浩司です。自然に囲まれた園舎のまわりの田んぼでは、荒かきも終わり、カエルの大合唱が鳴り響いています。

さて、当園ではテレビを置かない代わりに、お昼寝前の時間に優れた絵本の読み聞か

せを行っています。絵本も食べ物と同じで、優れたものとそうでないものがあります。優れた絵本は、子どもの心にくめども尽きない喜びと生きる勇気を与えてくれます。「おくりびと」の小山薫堂さんは、子どもたちのころ、自転車に乗り、天草の自然を満喫して育ったそうです。あんなにも自分のふるさとを愛している彼のように、今の子どもたちにも育ってほしいものです。



絵本を読む先生の話に熱心に聞き入る園児



仲良く元気に遊ぶ全児童

分校は楽しいですよ！

一町田小学校第一分校 (河浦町) 3年 坂井 祐斗

ほくたちの学校は、一町田小学校第一分校です。天草では、ただひとつの分校だそうです。1年生5人、2年生4人、3年生2人の11人ががんばっています。

第一分校には、ここでしかあじわえない楽しいことがたくさんあります。5月には、本校(一町田小学校)の3年生をしょうたいして、小運動会をします。みんなでダンスやリレーをがんばります。夏休みには、お泊まりキャンプがあります。花火をしたり、きもだめしをしたりして、とても楽しいです。1月には、もちやき大会をします。おなかいっぱいおもちを食べられます。

みなさんも、ぜひ分校に遊びにきてください。

「有終の美を飾る」

本町中学校(本町) 3年 岡部 有哉

本町中学校は、生徒数63人で開校63年目を迎えました。緑に囲まれた木造校舎で、毎日充実した学校生活を送っています。先輩・後輩関係なく仲がよく、学校行事や部活動も協力してがんばっています。

また、天草養護学校との交流やボランティア活動も盛んで、地域の皆さんとも深く関わることができています。残念なことですが、来年3月をもって本校は閉校し、本渡中、佐伊津中と統合します。母校がなくなるのは、寂しいことですが、最後の1年を有終の美で飾れるよう、また、本町中の生徒であったことを誇りに思えるよう「心一つ」

にしていこうと思います。



「有終の美」を飾れるようにがんばります！

ぼくのわたしの学校生活